



データ項目	定義	選択肢 (タイプ)	データ仕様						既存仕様との対応関係					整備・更新の考え方					
			品質		取得基準	更新頻度	対象エリア	備考	国土交通省新DX	I-UR	City/DM 2.0	Indoor DM	IIC	3次元地形・地盤・建物・植生等のデータ取得(国土交通省新DX)	行政における法定図書として最低限整備・更新が必要なデータ	行政業務・施策で整備・利用するデータ	行政・民間のユーザー向けに整備・利用が想定される		
			水平精度	高さ精度														共通基礎	独自整備
道路	車道	一般交通の用に供する場所。	タイプ1	2500程度	2500程度	水平方向は、公共測量標準図式(数値地形図2500レベル)に基づき作成。高さ方向は、空中写真やレーザ等から取得した点群データをもとに作成。	5年に1回	全域											
			タイプ2	500-1000程度	500-1000程度	水平方向は、公共測量標準図式(500・1000レベル)に基づき作成。高さ方向は、空中写真やレーザ等から取得した点群データをもとに作成。	1年に1回	道路管理者管轄範囲	道路台帳図における車道に相当										
			タイプ3	500-1000程度	500-1000程度	レーザ計測等の現地計測データをもとに作成。	随時	必要な場所											
			タイプ4	2500程度	-	地図調整事業者が整備する民間地図。	1年に1回程度	全域	更新頻度は対象エリアにより異なる										
	歩道	歩行者が通行するための道路。	タイプ1	2500程度	2500程度	水平方向は、公共測量標準図式(数値地形図2500レベル)に基づき作成。高さ方向は、空中写真やレーザ等から取得した点群データをもとに作成。	5年に1回	全域											
			タイプ2	500-1000程度	500-1000程度	水平方向は、公共測量標準図式(500・1000レベル)に基づき作成。高さ方向は、空中写真やレーザ等から取得した点群データをもとに作成。	1年に1回	道路管理者管轄範囲	道路台帳図における歩道に相当										
			タイプ3	500-1000程度	500-1000程度	レーザ計測等の現地計測データをもとに作成。	随時	必要な場所											
			タイプ4	2500程度	-	地図調整事業者が整備する民間地図。	1年に1回程度	全域	更新頻度は対象エリアにより異なる										
			タイプ5	500以上	500以上	歩行者ネットワーク、バリアフリーを目的として高精度に作成。	随時	局所											
	路面標示	交通を整理、誘導、規制するための路面に設けられる塗装。	タイプ1	500-1000程度	500-1000程度	水平方向は、道路台帳図作成基準に基づき作成。高さ方向は、空中写真やレーザ等から取得した点群データをもとに作成。	1年に1回	道路管理者管轄範囲											
			タイプ2	500-1000程度	500-1000程度	レーザ計測等の現地計測データをもとに作成。	随時	必要な場所											
			タイプ3	500-1000程度	-	高精度道路地図事業者等が整備する民間地図。	随時	必要な場所	更新頻度は対象エリアにより異なる										
橋梁	河川や谷、道路・鉄道等を経く構造物で、桁や橋脚等の部品から構成される。	タイプ1	2500程度	2500程度	水平方向は、公共測量標準図式(数値地形図2500レベル)に基づき作成。高さ方向は、空中写真やレーザ等から取得した点群データをもとに作成。	随時	必要な場所												
		タイプ2	500-1000程度	500-1000程度	水平方向は、道路台帳図作成基準に基づき作成。高さ方向は、空中写真やレーザ等から取得した点群データをもとに作成。	1年に1回	道路管理者管轄範囲												
		タイプ3	500-1000程度	500-1000程度	現地計測したMMS画像やレーザ点群データをもとに作成。	随時	必要な場所												
		タイプ4	2500程度	2500程度	空中写真やレーザ等から取得した点群データをもとに、橋梁外形及び高さを自動抽出して作成。	随時	必要な場所												
		タイプ5	500-1000程度	-	高精度道路地図事業者等が整備する民間地図。	随時	必要な場所	更新頻度は対象エリアにより異なる											
トンネル	道路、鉄道等の地下の通路で、坑門等の部品から構成される。	タイプ1	500-1000程度	-	水平方向は、道路台帳図作成基準に基づき作成。	1年に1回	道路管理者管轄範囲												
		タイプ2	500-1000程度	500-1000程度	現地計測したMMS画像やレーザ点群データをもとに作成。	随時	必要な場所												
		タイプ3	500-1000程度	-	高精度道路地図事業者等が整備する民間地図。	随時	必要な場所												
都市設備	橋梁、トンネル、標識、ガードレール、法面等の設置物。	タイプ1	500-1000程度	500-1000程度	水平方向は、道路台帳図作成基準に基づき作成。高さ方向は、レーザ計測等の現地計測データをもとに作成。	1年に1回	道路管理者管轄範囲												
		タイプ2	500-1000程度	500-1000程度	現地計測したMMS画像やレーザ点群データをもとに作成。	随時	必要な場所												
		タイプ3	500-1000程度	-	高精度道路地図事業者等が整備する民間地図。	随時	必要な場所	更新頻度は対象エリアにより異なる											
地下埋設物	地面の下に埋まっている上下水道、電力、ガス等の管路及び設備。	タイプ1	500-1000程度	-	施設管理用図面をもとに3Dデータとして図面化して整備。	更改時	施設管理者管轄範囲												
		タイプ2	500-1000程度	500-1000程度	空中レーザ等を用いて既設の埋設物を地表から計測して整備。	随時	施設管理者管轄範囲												
		タイプ3	500以上	500以上	施工完了時、埋設前にレーザ等を使って現況を計測して整備。	更改時	施設管理者管轄範囲												
水部	河川、湖沼、等のように陸地内に存在する水の存在する部分及び海、水路や貯水構、プールのような人工的に存在する水を含む。	タイプ1	2500程度	2500程度	水平方向は、公共測量標準図式(数値地形図2500レベル)に基づき作成。高さ方向は、空中写真やレーザ等から取得した点群データをもとに作成。	5年に1回	全域												
		タイプ3	500-1000程度	-	高精度道路地図事業者等が整備する民間地図。	随時	必要な場所												
植生	独立した樹木、または芝生や茂みのように、植生に覆われた範囲。	タイプ1	500-1000程度	500-1000程度	現地計測したMMS画像やレーザ点群データをもとに作成。高さ方向は、レーザ計測等の現地計測データをもとに作成。	随時	必要な場所												
		タイプ2	500-1000程度	500-1000程度	道路管理者が整備する街路樹台帳をもとに作成。高さ方向は、レーザ計測等の現地計測データをもとに作成。	1年に1回	道路管理者管轄範囲												
地形(起伏)	地表の高低、起伏、DEM。	タイプ1	5m以上	5m以上	空中写真やレーザ等から取得した点群データをもとに整備。	5年に1回	全域												
		タイプ2	5m以上	5m以上	地形が変化した場合、空中写真やレーザ等から取得した点群データをもとに整備。	施設等の更改時	局所												
ネットワーク	ノードリンクで構成される向きを持たない線分。交通量や歩行者、上下水道などのシミュレーションに用いる。	タイプ1	-	-	対象物の3D線分を接続して整備。	随時	必要な場所												